

# NEX NIPPON EXPRESS

We Find the Way



## BUSINESS REPORT

NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社

中間報告書 | 2023年1月1日 ▶ 2023年6月30日

**NEX** NIPPON  
EXPRESS

We Find the Way

証券コード No.9147

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。NXグループの第2期第2四半期(2023年1月~6月)の概況につきまして、ご報告申し上げます。

NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社  
代表取締役社長

齋藤 充



当第2四半期(2023年1月~6月)の世界経済は、新型コロナウイルス制限解除後の中国における経済活動の回復や、資源価格の高騰に一服感がみられるなど一部で前向きな兆しが表れ始めていましたが、金融引き締めの影響による内需の後退、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化などの下振れリスクなど、依然として先行きが見通せない状況にありました。

このような経済情勢のなか、物流業界におきましても、主要国の景気後退の長期化により、国際物流では、自動車や電子機器などの減産の影響を受けて総じて低調に推移するなど、昨年来続いていた航空・海上輸送の需給逼迫状況も大幅に緩和され、サプライチェーンの正常化が進みました。国内においては、感染症対策の緩和などを背景にした訪日外国人観光客の回復によって小売やサービス分野で改善がみられるものの、世界経済の減速とも連動する製造業における生産の落ち込みの影響が大きく、荷動きは力強さに欠ける状況で推移いたしました。

このような経営環境のなか、NXグループは、現経営計画「NXグループ経営計画2023~非連続な成長“Dynamic Growth”~」の最終年度となる当期も、足元の経営基盤を

強化しながら、各種指標の達成と、「グローバル市場で存在感を持つロジスティクスカンパニー」という長期ビジョン実現に向け、グループ一丸となって取り組んでおります。

### 事業の成長戦略

#### ●コア事業の成長戦略

グローバル事業本部(G B H Q :Global Business Headquarters)を中心に、営業戦略の中核に「グローバルアカウントマネジメント」を据え、グローバルな営業体制、組織の更なる強化を図ってまいりました。顧客(産業)軸アプローチでは、成長が見込まれる半導体産業や医薬品産業などに継続的に取り組み、事業軸アプローチではコントラクト・ロジスティクスの拡販、顧客サプライチェーンのエンド・ツー・エンドをカバーするソリューションビジネスの提供を可能とする販売体制の構築を図ってまいります。

#### ●日本事業の強靱化戦略

NXグループの核となる国内物流事業の収益性の更なる改善と経営基盤の強化に向け、倉庫オペレーションのレベルアップやオフィス業務の自動化・簡素化による生産性の向上に努めるとともに、ロジスティクス事業の規模拡大

と生産性の向上を加速させるべく、Logistics Academyを立ち上げ、ロジスティクス人材を養成してまいります。

また、ネットワーク商品の強化では、鉄道・内航コンテナの拡販について、CO<sub>2</sub>削減、2024年問題、BCPなどへ対応するため、Sea & Rail サービスにフォーカスし、体制の構築と更なる拡販を図ってまいります。

## 長期ビジョン実現のための取組み

### ●非連続な成長戦略

M&A戦略を前提に、グローバルな成長を実現できる体制、より強固なグループ経営を行う体制の構築に取り組んでおり、この度、cargo-partner社の買収を決定いたしました。同社は、欧州における産業集積地として注目が高まる、中東欧地域に強固な事業基盤を有するとともに、当社の重点産業である、自動車、電機・電子、医薬品産業における海運・航空フォーディング事業を中心に欧州、アジア、北米で事業展開しております。当社の長期ビジョン実現に向け、両社の優位性を生かし、相乗効果による更なるフォーディング事業、顧客基盤の強化、営業活動の活発化、グローバル市場における存在感を高めることが実現できるものと考えております。

### ●取組みを支える機能の強化

グローバルでの競争優位を築くためのブランディング戦略の一環として、「2023 World Baseball Classic™」のグローバルスポンサーとして、NXグループの認知度向上を推進いたしました。

### ●持続的成長と企業価値向上のためのESG経営の確立

持続的な成長とステークホルダーとの共創による企業価値向上を目指すなか、実効性の高い施策をグループ一丸となって遂行するため、本年1月にサステナビリティ方針・ビジョンを策定しました。その一環として、カーボンニュートラル社会実現への貢献と地球環境の保全を目指し、CO<sub>2</sub>排出量削減について新たな中長期目標を設定しております。今後も気候変動への対応を進め、

積極的に情報開示を行ってまいります。

また、長期ビジョンの実現に向け、人材こそが競争力の源泉と考え、「社員が幸せを感じる企業に変革する」ことを掲げており、その一つとしてNXグループダイバーシティ推進基本方針を策定し取組みを進めるとともに、多国籍人材・経験者採用などを進めてまいりました。

この結果、**第2期第2四半期連結経営成績につきましては、売上収益は1兆1,318億円、営業利益は403億円、税引前四半期利益は413億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は254億円**となりました。

なお、第2期中間配当金につきましては、本年8月9日開催の取締役会において、普通株式1株につき、150円と決定し、支払開始日を本年9月5日とすることを決定いたしました。

当下半期の経済動向につきましては、世界経済はインフレの継続、ロシアによるウクライナ侵攻や主要国中央銀行による金融引き締めの影響など、引き続き先行き不透明な状況で推移するものと予測され、日本経済においても、それらの影響による輸出や設備投資の下押しリスクなどが山積しております。

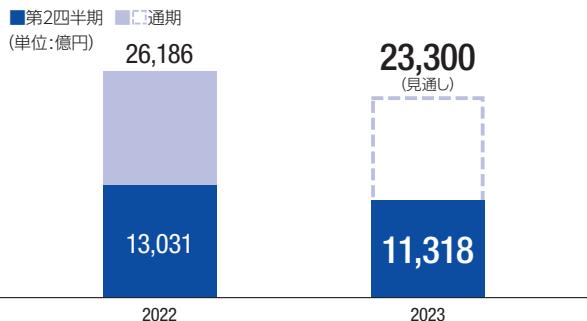
このような経営環境のなか、物流業界は、慢性的な人手不足への対応に加え、デジタル化への対応、先端技術による新たなサービスの開発、気候変動への対応など、社会の持続的な成長を支える新たな価値創造産業への転換が求められております。NXグループは、企業価値向上に向けた人的資本経営の実現に向け、グローバルで活躍できる人材の確保・育成、ワークスタイル変革、ダイバーシティ&インクルージョンを推進し、更なる成長と、より一層の企業価値向上を図り、株主の皆様のご期待に応える所存でございますので、引き続き株主の皆様のご理解と温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年9月

売上収益

1兆1,318億円

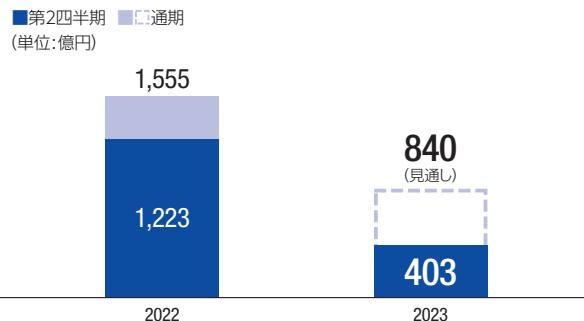
(前年同期比13.1%減)



営業利益

403億円

(前年同期比67.0%減)



日本  
(ロジスティクス)



米州  
(ロジスティクス)



欧州  
(ロジスティクス)



東アジア  
(ロジスティクス)



売上収益

6,402億円  
(前年同期比11.8%減)

売上収益

740億円  
(前年同期比0.8%減)

売上収益

943億円  
(前年同期比9.3%減)

売上収益

773億円  
(前年同期比37.9%減)

セグメント利益

231億円  
(前年同期比35.6%減)

セグメント利益

52億円  
(前年同期比1.7%減)

セグメント利益

49億円  
(前年同期比19.4%減)

セグメント利益

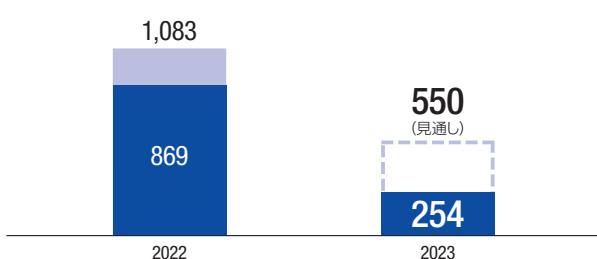
25億円  
(前年同期比59.6%減)

## 親会社の所有者に帰属する四半期利益

# 254億円

(前年同期比70.7%減)

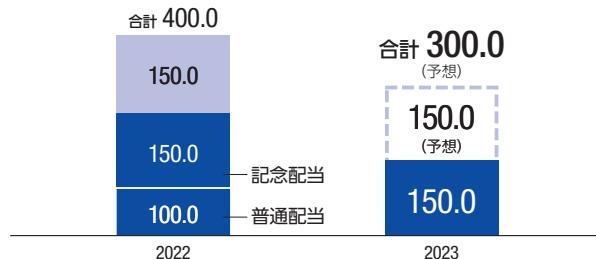
■ 第2四半期 ■ 通期  
(単位:億円)



## 中間配当金

# 150.0円

■ 中間 ■ 期末  
(単位:円)



### 南アジア・オセアニア (ロジスティクス)



### 警備輸送



### 重量品建設



### 物流サポート



#### 売上収益

## 719億円

(前年同期比38.6%減)

#### 売上収益

## 338億円

(前年同期比1.0%減)

#### 売上収益

## 258億円

(前年同期比29.5%増)

#### 売上収益

## 2,090億円

(前年同期比0.9%増)

#### セグメント利益

## 49億円

(前年同期比57.2%減)

#### セグメント利益

## 17億円

(前年同期比18.8%増)

#### セグメント利益

## 30億円

(前年同期比39.8%増)

#### セグメント利益

## 65億円

(前年同期比20.6%減)

# NXグループ経営計画2023 ～非連続な成長“Dynamic Growth”～

NXグループでは、将来の当社グループのありたい姿として、2037年に迎える創立100周年に向けて新たに「長期ビジョン」を掲げました。この長期ビジョンで定めた当社グループの将来のありたい姿「グローバル市場で存在感を持つロジスティクスカンパニー」の実現のため、5年間の「NXグループ経営計画2023～非連続な成長“Dynamic Growth”～」を策定し、2019年4月より取り組んでいます。

## NXグループ経営計画2023 取組み骨子

### コア事業の成長戦略

#### 売上高の拡大

- グローバル市場での成長
- 国内大都市への経営資源の集中

#### 「コア事業の成長戦略」重点施策

##### 顧客（産業）軸アプローチ

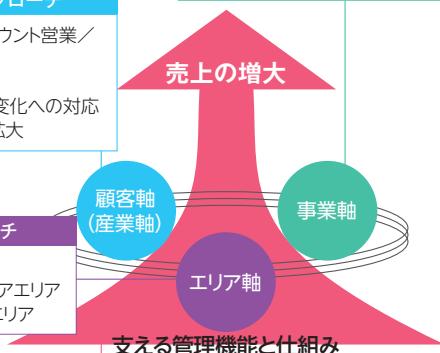
- ワンストップ営業・アカウント営業／アカウントマネジメント
- 産業・業種別の取組み
- EC市場の拡大による変化への対応
- 非日系顧客への営業拡大

##### エリア軸アプローチ

- 日本 ●米州エリア
- 欧州エリア ●東アジアエリア
- 南アジア・オセアニアエリア

##### 事業軸アプローチ

- フォーワーディング事業
- ロジスティクス事業
- ネットワーク商品事業
- パッケージング・ソリューション事業



##### 3つの営業アプローチを支える管理機能と仕組み

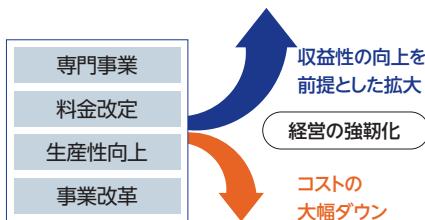
- 売上・営業データに基づく営業活動支援システムの構築
- 営業プロセスKPIの導入
- グループの営業支援基盤強化

### 日本事業の強靱化戦略

#### 収益性の向上

- 専門事業の収益性向上
- 営業・事務生産性の向上
- 低収益事業の抜本的改革

日本事業では、重量品建設、警備輸送、美術品輸送といった専門事業の収益性向上を図ります。



### 長期ビジョン実現のための取組み

- 非連続な成長戦略
- 取組みを支える機能強化
- 持続的成長と企業価値向上のためのESG経営の確立

「非連続な成長戦略」では、M&Aを活用し、グローバルなネットワークや経営基盤、非日系グローバル顧客基盤などを獲得していくことにより、グローバル市場で存在感を持つロジスティクスカンパニーへの非連続な成長を遂げることを目指します。

「取組みを支える機能強化」では、DXの推進によるイノベーションで、従来業務のデジタル化による効率化と経営の高度化を加速させ、同時に顧客提供価値の向上を目指すとともに、DXと外部企業との共創によるイノベーションで、新たな事業領域の創造を推し進めています。また、2022年1月から導入したグループブランド「NX」をグローバルで浸透させていくためのブランディング戦略や、人財戦略など、経営基盤のイノベーションを進めています。

「持続的成長と企業価値向上のためのESG経営の確立」では、安全・コンプライアンス・品質を徹底するとともにCO<sub>2</sub>排出量削減にこだわります。また、社会的課題解決に取り組むことで、持続可能な社会に貢献し、グループにおいては多様な人財が活躍し、従業員が幸せを感じる企業となることを目指しています。



## 財務目標と進捗状況

	2022年度実績	2023年度目標
売上高	2兆6,197億円	2兆4,000億円
営業利益	1,287億円	1,100億円
営業利益率	4.9%	4.6%
当期純利益	1,098億円	720億円
海外売上高	8,416億円	7,200億円
ROE	15.9%	10.0%
フォワーディング数量	海運	76万TEU
	航空	87万t
		110万TEU
		120万t

※本表は2023年度目標との比較のため、日本基準の数値を掲載しています。

セグメント別数値目標	2022年度実績			2023年度目標			
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率	
ロジスティクス	日本	1兆4,572億円	658億円	4.5%	1兆3,730億円	658億円	4.8%
	米州	1,620億円	133億円	8.2%	1,210億円	72億円	6.0%
	欧州	2,156億円	124億円	5.8%	1,860億円	87億円	4.7%
	東アジア	2,420億円	124億円	5.1%	2,310億円	89億円	3.9%
	南アジア・オセアニア	2,218億円	200億円	9.0%	1,820億円	142億円	7.8%
警備輸送	684億円	9億円	1.4%	690億円	11億円	1.6%	
重量品建設	445億円	63億円	14.1%	530億円	61億円	11.5%	
物流サポート	4,148億円	163億円	3.9%	3,820億円	120億円	3.1%	

## cargo-partnerの株式取得（子会社化）について

### 取引の背景

NXグループ経営計画 2023で掲げる「グローバル市場で存在感を持つロジスティクスカンパニー」への成長の実現に向けた、時宜を捉えた成長戦略の執行

#### 買収対象会社概要

cargo-partner GmbH(他62社)

- 1983年11月30日設立 所在地:オーストリア
- 事業内容: 航空・海上フォワーディングを主とする物流事業
- 展開地域: 西欧、東欧、中欧、北東・東南アジア、インド、オセアニア、北米

#### 取得価額

対象会社の普通株式:845 百万ユーロ(約126,750 百万円)

(本件取引完了時の対象会社の純有利子負債や運転資本などに係る調整を行い、実際の取得価額を確定)

この他、アーンアウトとして最大555百万ユーロ(約83,250百万円)が、対象会社の業績が株式譲渡契約において規定された一定の財務指標を達成することを条件として、売主に対して現金で支払われる

#### 本件取引実行日

2023年11月～2024年5月(予定)

(注)アーンアウトとは、株式取得後の一定期間において、売上や利益などの目標設定を行い、その目標が達成された場合に、買手から売手に対して追加で支払いが行われる仕組みのことです。

### 買収の戦略的意義

#### ネットワーク拡大と提供サービスの拡充

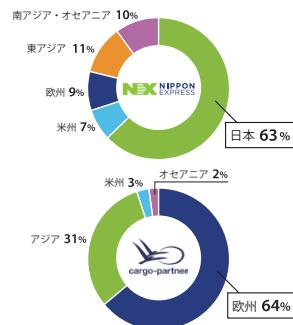
**A** 欧州域内の生産拠点として今後の成長が大いに見込まれる中東欧地域のロジスティクス基盤を補完することによる当社ネットワークの拡大と欧州地域の提供サービス拡充

- NX HDの拠点がある国・地域
- cargo-partnerの拠点がある国・地域
- cargo-partner、NX HDともに拠点がある国・地域

#### 拠点別



地域別売上高シェア(2022年12月期時点)<sup>※1</sup>



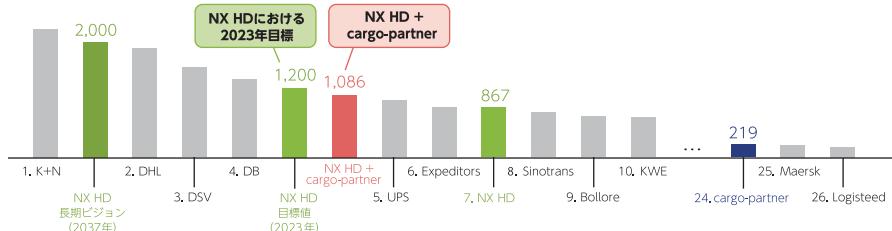
※1: NX HDにおける警備輸送セグメント、重量品建設セグメント、物流サポートセグメントを除く

**B**

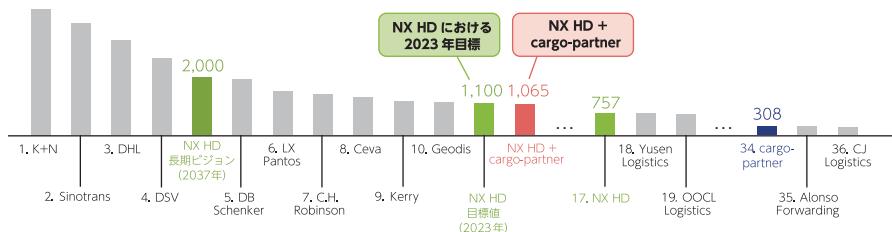
### 取扱貨物数量拡大による競争力向上

海運・航空貨物取扱量拡大による、グローバル市場における競争力の強化

航空貨物取扱量 ※2 千トン(2022年時点)



海上貨物 (FCL) 取扱量 ※2 千TEU (2022年時点)



※2: Transport Topics開示のランキングを参照 出所: Transport Topics "Top100 Logistics Companies 2023"

### PMI ( Post Merger Integration) の取組方針

ステアリングコミティの設置

#### 経営管理



NXグループから一定数の取締役および出向者を派遣。相互理解を深め、さらなる信頼関係を構築し、迅速な連携を強化

#### ガバナンス



cargo-partner の現経営陣とNXグループ経営陣の意思統一を実現するガバナンス体制の構築

#### 成長戦略



GBHQを中心としたNXグループとcargo-partnerによる成長戦略の実現に向けた実行計画の策定・推進

**C**

### グローバルなロジスティクス需要に対する対応力の強化

グローバル展開するお客様のさまざまなご要望に応え、特にアジアと欧州を結ぶロジスティクス需要への対応力とグローバルアカウント体制の増強

**NEX** NIPPON EXPRESS



**cargo-partner**

日系中心

電機・電子

自動車

医薬品

アパレル

半導体

非日系中心

ハイテク・電子機器

自動車・自動車部品

医薬品・ヘルスケア

ファッション&ライフスタイル

食品・雑貨・小売

**D**

### シナジー創出と事業の拡大・発展

互いに異なる顧客基盤と国・地域の強みを持つことから、相互補完によるロジスティクス事業のシナジー創出と拡大・発展



## サステナビリティ方針・ビジョン

NXグループは、“社会発展の原動力であり、物流から新たな価値を創り、信頼される存在である”という企業理念を体現し、サステナブルな社会の実現と持続的な成長・企業価値向上の両立に向け、これまで進めてきたサステナビリティ経営をより深化させ、実効性の高い施策をグループ一丸となって遂行するために、当社グループのサステナビリティへの姿勢や創出価値を明らかにしたサステナビリティ方針およびビジョンを策定しております。

### サステナビリティ方針

NXグループは、従業員、ビジネスパートナー、お客様、地域社会といったステークホルダーと共創し、実り豊かな未来を目指すことで、持続可能な社会の実現を目指していきます。

NXグループは、自社とお客様の環境負荷の低減に貢献する事業に取り組むことで、カーボンニュートラル社会の実現や、地球環境の保全に貢献していきます。

NXグループは、人と人、ビジネスとビジネスをグローバルに繋ぎ、社会課題の解決に寄与するソリューションを提供することで、社会から必要とされる存在として、持続的な成長を追求していきます。

### サステナビリティビジョン

#### 企業理念

私たちの使命 それは社会発展の原動力であること  
 私たちの挑戦 それは物流から新たな価値を創ること  
 私たちの誇り それは信頼される存在であること

#### サステナビリティ ビジョン

事業を通じて世界の人々のより良い暮らしと持続可能な社会の発展を支える

**社会的価値**  
【安心・安定の提供/働く人の幸せ】

**環境的価値**  
【地球環境の保全】

**経済的価値**  
【NXの持続的成長】

#### マテリアリティ (重要課題)

#### イノベーションによる新たな価値の創造 (変えるべき価値観)

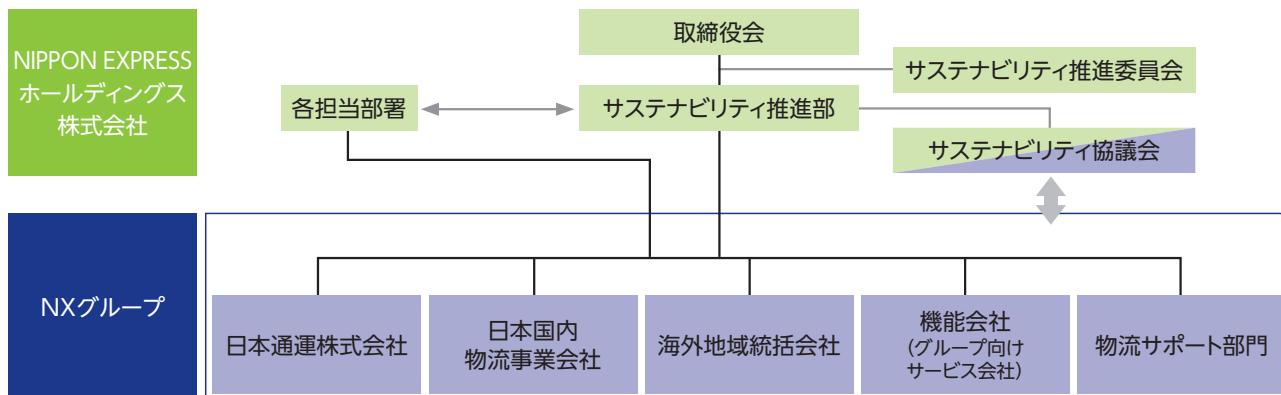
事業	品質向上と新価値の創造	気候変動への取組み
	持続可能でレジリエントな物流インフラの構築	
事業基盤	事業のデジタル化とDXの推進	従業員エンゲージメントの向上
		ガバナンスの強化

安全・コンプライアンス・品質 (変わらない価値観)

# サステナビリティ推進体制

当社グループは、NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社において設置されたサステナビリティ推進部を中心にサステナビリティ経営に取り組んでいます。

また、当社グループのサステナビリティ推進を担うサステナビリティ推進委員会では、当社の執行役員を中心に気候変動問題を含むサステナビリティ全般の取組みを推進しています。



## 1 委員会の機能・目的

- サステナビリティ経営に関わる経営の基本方針、事業活動などの方針・戦略に関する企画・立案・提言
- サステナビリティ経営に関わる情報、進捗状況などの取締役会および経営・執行役員会議への報告

## 2 委員

- 委員長：社長
- 副委員長：サステナビリティ推進部を所管する本部長
- 構成メンバー：執行役員
- 事務局：サステナビリティ推進部

## 3 開催頻度

原則年2回 ※重要事項がある場合は、臨時開催を行う。

NXグループのサステナビリティ活動の詳細は、サステナビリティデータブックをご覧ください。

<https://www.nipponexpress-holdings.com/ja/sustainability/report/>



NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社役員 (2023年6月30日現在)



後列向かって左から

① 監査役

青木 良夫

② 常勤監査役

溝田 浩司

③ 常勤監査役

有馬 重樹

④ 監査役

野尻 俊明

⑤ 監査役

讚井 暢子

前列向かって左から

⑥ 取締役

柴 洋二郎

⑦ 取締役  
執行役員

赤石 衛

経営企画部担当兼  
経営企画部長

⑧ 代表取締役社長  
社長執行役員

齋藤 充

最高経営責任者

⑨ 代表取締役会長

渡邊 健二

取締役会議長

⑩ 取締役

安岡 定子

⑪ 取締役

伊藤 ゆみ子

執行役員

副社長執行役員

堀切 智  
近藤 晃

常務執行役員

竹添 進二郎 大槻 秀史  
田中 博之 阿部 俊哉

専務執行役員

長嶋 敦

執行役員

赤間 立也 大辻 智 坂本 健  
松尾 純利 海野 昭良 松本 淳  
柿山 慎一 國谷 武史 福島 和彦



※安岡取締役、柴取締役、伊藤取締役は会社法に定める社外取締役とする。

※安岡取締役、柴取締役、伊藤取締役は非常勤とする。

## 会社概要 (2023年6月30日現在)

会社名	NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社
本社	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町2番地 <a href="https://www.nipponexpress-holdings.com/">https://www.nipponexpress-holdings.com/</a>
設立	2022年1月4日
資本金	701億75百万円
事業内容	貨物自動車運送事業等を営むグループ会社の 経営管理およびそれに付随する業務

## 株式の状況 (2023年6月30日現在)

株式数	発行可能株式総数	340,000,000株
	発行済株式の総数	90,599,225株
株主数	49,669名	

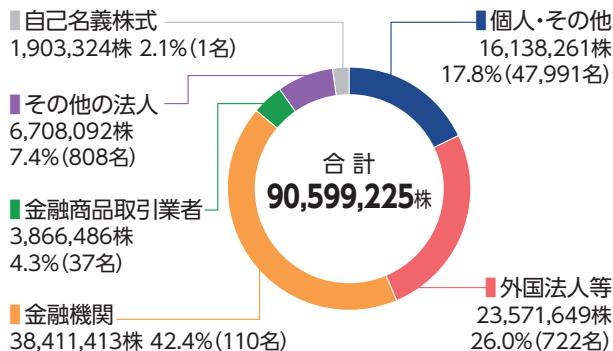
## 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	14,063	15.9
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	6,566	7.4
朝日生命保険相互会社	5,601	6.3
NX持株会	3,944	4.4
損害保険ジャパン株式会社	3,567	4.0

※持株比率は、自己株式1,903千株を控除して計算しております。

## 所有者別株式の分布状況

### 〈株式数および比率〉



## 単元未満株式買取・買増請求制度のご案内

### 買取請求

100株未満の株式を、当社に対して市場価格で売却できる制度です。

(例) 60株を保有の場合、市場では売却できませんが、市場価格で当社が買い取りいたします。



### 買増請求

100株(単元株式)に不足する数の株式を、当社から市場価格で買い増し、単元株にすることができる制度です。

(例) 60株を保有の場合、40株を買い増して、100株とすることができます。



### 各種お手続きのお申し出先

- ①証券会社口座にある株式 ▶ お取引先の証券会社
  - ②特別口座にある株式 ▶ 三菱UFJ信託銀行
- (※下記までお問い合わせください。)

東京都府中市日鋼町1-1  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
☎ 0120-232-711  
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

株式の諸手続きについては当社ホームページでもご案内しております。

<https://www.nipponexpress-holdings.com/ja/ir/stock-info/procedure/>



NIPPON EXPRESS 株式諸手続き

## 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から 12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	定時株主総会 12月31日 期末配当金 12月31日 中間配当金 6月30日
単元株式数	100株
上場取引所	東京
証券コード	9147
銘柄略称	NXHD

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 特別口座の口座管理機関
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 ☎ 0120-232-711 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公 告 方 法	電子公告 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都内で発行される日本経済新聞に掲載して行います。 電子公告掲載ホームページアドレス <a href="https://www.nipponexpress-holdings.com/">https://www.nipponexpress-holdings.com/</a>

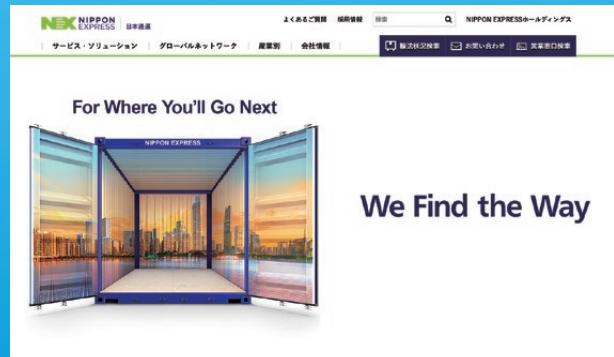
CORPORATION

NIPPON EXPRESSホールディングスのオフィシャルサイトがスタート。最新ニュースやIR情報などを発信しています。  
<https://www.nipponexpress-holdings.com/>



CORPORATION

日本通運の事業内容やサービス紹介、最新ニュースなどを発信しています。  
<https://www.nittsu.co.jp/>



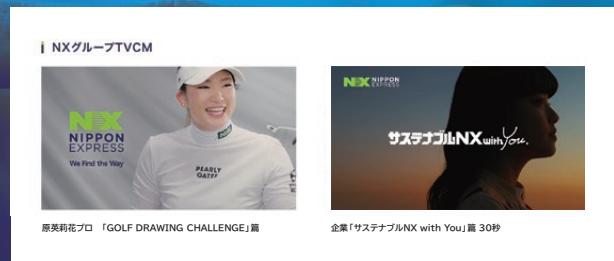
SPORTS

部活動を通して、さまざまなスポーツの普及、振興、国際化に努めております。  
<https://www.nittsu.co.jp/sports/>



TVCM

放映中のTVCMやTV番組を通じて、当社が展開しているさまざまな取組みを多くの方々にお伝えしています。  
<https://www.nipponexpress-holdings.com/ja/about/video/>



LinkedIn公式アカウント

海外のNXグループで手掛ける事業内容を中心に、さまざまな情報を世界のビジネスユーザーに向けて発信しています。  
<https://www.linkedin.com/company/nippon-express-group/>



Youtube公式チャンネル

TVCMや企業活動、歴史など当社にまつわる情報を映像でご覧いただけます。  
<https://www.youtube.com/channel/UCatNmOs5hJzVWMfQeUnaQ>



## 会社法の改正により、株主総会資料が原則ウェブ化されました。

2022年9月1日に施行された改正会社法により、2023年3月以降に開催される株主総会から、株主総会資料を自社のホームページなどのウェブサイトに掲載し、株主に対して当該ウェブサイトのアドレスなどを書面により通知する株主総会資料の電子提供制度が開始されました。

### (ご参考) 電子提供制度のイメージ



インターネットのご利用が難しい株主様は、「書面交付請求」が可能です。

### Q 「書面交付請求」とは？

A インターネットを利用することが困難な株主様を保護するためのお手続きです。お申し出いただいた株主様には発行会社より株主総会資料を書面でお送りします。なお、書面交付請求を行わなくても、URLなどを記載した招集通知は必ず書面にて送られます。

### Q 「書面交付請求」の受付期限は？

A 当社の株主総会の基準日である2023年12月31日までに申し出いただくことにより、2024年の株主総会資料を書面で受け取ることができます。

### Q お手続き方法は？

A 証券会社にお申し出の場合は、当社の口座を開設している証券会社へお問い合わせください。  
株主名簿管理人にお申し出の場合は、当社では三菱UFJ信託銀行株式会社となりますので、ホームページまたは専用ダイヤルよりお問い合わせください。

<https://www.tr.mufig.jp/daikou/denshi.html>

三菱UFJ信託銀行株式会社

証券代行部テレホンセンター専用ダイヤル 0120-696-505 (受付時間:土・日・祝日を除く平日9:00~17:00)

株主総会資料のご送付を希望される場合は、別途証券会社または株主名簿管理人に「書面交付請求」のお手続きをお申し出ください。2023年12月31日までに手続きが完了しない場合は、当年度の受付はできませんので、お早めにお手続きください。\*過去に書面交付請求のお手続きをいただいた株主様には、継続して株主総会資料を書面でお送りします。

